

安曇野ブランドデザイン会議の進ちょく状況などをシリーズでお伝えします

安曇野の原風景である屋敷林とその周辺のまちなみの保全を目指す「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」が、6月16日に発足しました。プロジェクトでは今後、屋敷林を所有する皆さんから、その大切さや維持管理の苦労などの聞き取りを行います。

**スタート！**  
屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

「既存商店街活性化プロジェクト」は6月21日、豊科と穂高の商店街で、約2千株のマリーゴールドを植えました（写真1）。10月ころまで商店街のまちなみに彩りを添えます。また、「拾ヶ堰景観形成プロジェクト」でも、拾ヶ堰（自転車広場）で、ポラントピアの皆さん20人とシバザクラ2千株と、豊科細萱の丸山さんから寄付いただいたジャーマンアイリスを植えました。来年の初夏には、ピンク色や白色の花を楽しむことができそうです。

**まちに彩り**  
既存商店街活性化プロジェクト  
拾ヶ堰景観形成プロジェクト



市では、安曇野ブランド推進事業の一環として、双体道祖神をモチーフにした「安曇野にふさわしい理想の夫婦」を著名人から選ぶ取り組みを行いました。選定は、首都圏在住者1万5,000人を対象にアンケート調査が行われ、客観的な安曇野のイメージを探りました。その結果、映画監督の篠田正浩、女優の岩下志麻夫妻が多数の支持を

**篠田正浩・岩下志麻夫妻が、安曇野の力に**

東京で行われた1万5,000人のアンケートから「安曇野にふさわしい理想の夫婦」を選出

市政トピックス  
**食育推進計画の策定に向けて**

第1回食育推進会議が開催

市は6月3日、食育推進会議の初会合を穂高健康支援センターで開き、副市長が委員となる15人に委嘱書を手渡しました。この会議は、国が定めた食育基本法に基づき、安曇野市食育推進計画（21年度からの5カ年）を年度内に策定するために組織され、学識経験者や医師、養護教諭、栄養士、公募による市民、各種団体の代表などで構成されています。この日は、会長に松本大学人間健康学部教授の広田直子さん、副会長に食生活改善推進協議会会長の小松恵美子さんを選出し、今後の日程や7月にかけて実施されるアンケート内容などを協議しました。

委員からは、「安曇野市らしい計画をつくりたい」、「子どもたちに、学習のひとつとして学んで欲しい」、「母親も働いている家庭が多く、子どもにおばあちゃんとして、してあげられることを考えたい」など、さまざまな意見が出されました。



**かわいいサイズ豊富なバリエーション**  
安曇野豆文庫プロジェクト

「安曇野豆文庫プロジェクト」では、安曇野の魅力や貴重な資源の情報を、子どもからお年寄りまで楽しみながら吸収できる「安曇野豆文庫」を出版しました（写真2）。市内外の書店、土産店、旅館・ホテル・ペンションなど（販売店はホームページに掲載）で販売しています。今後は、安曇野の民話、花、伝統行事や食などに着目し、順次出版していきます。

**「ふくろう」が誕生**  
安曇野市天蚕センター

●愛称募集

安曇野市天蚕センターでは、天蚕の「ふくろう」を新商品として制作しました（写真3）。そこで、このふくろうの愛称を募集します。

■応募方法

ふくろうの愛称と郵便番号、住所、氏名を明記の上、郵送

で左記までお送りください。  
**採用者**  
採用1点（採用者には2万4千円相当の天蚕糸入りマフラーを進呈）。同名多数の場合は抽選にて決定します。なお、応募者（採用者を除く全員）の中から抽選で10人に天蚕糸入りペンケースを贈呈します。

●制作者の募集

安曇野市天蚕センターでは、天蚕を利用したこのふくろうの制作を手伝っていただける人を募集しています。詳しくは、左記へお問い合わせください。  
☎399・8101 安曇野市三郷明盛4810番地1  
三郷総合支所内安曇野ブランド推進室  
TEL 77・3111 FAX 77・6060



(写真1) 商店街の皆さんが力を合わせ、1,000個のプランターに2本ずつ植栽。



(写真2) 安曇野豆文庫第一作「なつかしい安曇野へ」



(写真3) 薄緑色の小さなふくろう

受け、選定に至りました。また夫妻には、これを機会として、安曇野ブランドなどに助言をいただく「エグゼクティブアドバイザー」をボランティアで引き受けていただけることになりました。7月8日には、記者会見を都内で行い、68社の報道機関が訪れるなか、平林市長から夫妻に記念のガラスモニュメントとアドバイザーの委嘱書が手渡されました。

篠田さんは、親しみがあるという安曇野の文化芸術、自然などを紹介し、「この地で生命をリフレッシュしたい」と話しました。また岩下さんは「銀座で生まれたため、安曇野を第2の故郷として大切にしたい」と笑顔で話しました。夫妻は今秋、安曇野をPRする写真撮影に臨む予定です。